

宮地市政4年間の

取り組みはどうか

緑風会 木下健二



質問↓宮地市政の4年間の取り組みについて、市長はどのように総括し、自らの評価をどのように思われるのか。また、今期の経

験と実績を踏まえ、さらなる津山の発展に向け次の舵取りはどうか。

市長↓これまでの具体的な実績は、長年の懸案であった新クリーンセンター建設の着手、多額の負債を抱えていた土地開発公社の整理解散、小中学校の耐震化や子ども医療費負担の軽減措置の拡大、美作国建国1300年記念事業などが上げられる。私としては、現任期中に課せられた課題について、概ね解決を図ることができたと受け止めている。なお、私が津山市長としての職責を全うできたのは、ひとえに支援いただいた多くの市民の皆様、並びに議員の皆様の方添えによるものであり、改めて心から感謝申し上げたい。これから私が掲げる取り組みを着実に進めていくためには、やはり、公正、公平で市民の皆様から信頼される行政でなければならぬと思う。

デフレからの脱却・景気回復

の兆しは

公明党津山市議団 原 行則

質問↓自公政権に代わり1年が過ぎ、景気回復の兆しが見えてきている。円安株高により日本企業が息を吹き返し、業績を回復してきている。また、防災、減災関連で建設関連企業も急速に回復してきている。しかし地方ではまだ変化がないとの声も多い。津山域内の経済、雇用状況はどうか。

答弁↓津山地域の企業では、建築資材を中心とした製造業や建築業、ステンレス関連企業が好調のようである。家電関連企業等はまだまだ厳しい現状も見られる。雇用については、有効求人倍率が1.17倍と前年対比で0.25ポイント上昇し、新規求人も4カ月連続で増加しているなど、明るい兆しが見えてきている。

質問↓半世紀にわたり続いた減反政策を5年後に終了すると政府が発表。農業の現場は不安や戸惑いを感じている。このことについて所見を伺いたい。



答弁↓減反政策見直しによって農業が衰退することとは何としても避けたい。県や農協等と連携しながら取り組んでいく。

地域の理にかなった

賢い経済成長を!

緑風会 秋久憲司



質問↓成長戦略については「賢い成長」という考え方が大切だと思ふ。足元を見て地域の理にかなった経済を作らなければならないと思う。

答弁↓地域外からの需要を獲得し、利益を地域内で循環させる地産地消の循環型産業構造を作り上げたい。

質問↓成長戦略の基本的な事項は。

答弁↓成長のエンジンとして「農林業」「ものづくり」「観光」「再生可能エネルギー」の4分野を柱に考え策定中である。

質問↓産業支援には関係機関などとの支援機能の統合を図るべきではないか。

答弁↓幅広い産業分野を包括的に支援できる総合的な支援体制としての産業支援センターを設置していきたい。

質問↓臨時・嘱託職員の処遇改善や研修の充実を進めるべきでは。育児休業に任期付き職員を配置しては。

答弁↓処遇の改善は引き続き検討していく。任期付きの職員採用は早急に制度設計を進めたい。